

販売終了

EG-0016/1

取扱説明書

エアピンチバルブ

外部パイロット式

APV

製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。

この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

 シーケーディ株式会社

本製品を安全にご使用いただくために

本製品は制御弁（電磁弁、電動弁、エアオペレート弁など）を使用するに当って、材料・流体・配管・電気などについての基礎的な知識を持った人を対象にしています。制御弁についての知識を持たない人や十分な訓練を受けていない人が選定、使用して引き起こした事故に関しては、当社は責任を負いません。

お客様によって使用される用途は多種多様にわたるため、当社ではそれらの全てを把握することができません。

用途・用法によっては流体・配管・その他の条件により性能が発揮出来ない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途・用法にあわせて製品の仕様の確認および使用法を責任を持って決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますがお客様の取扱いミスによって事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、必ず取扱説明書を熟読し内容を充分にご理解いただいた上でご使用ください。

本文中に記載してある取扱い注意事項と合わせて下記項目についてもご注意ください。

注意

- 電磁弁・電動弁などのコイル部は電気を通電すると発熱します。特にH種仕様の機種は高温になる場合があります。直接触れると火傷をする場合がありますのでご注意ください。
- 電磁弁・電動弁などの電気配線接続部（裸充電部）に触れると感電する恐れがあります。分解点検時には必ず電源を切ってから作業してください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。
- 蒸気のほか高温制御用の制御弁の使用については、高温流体が外部に漏れますと火傷の恐れがありますので漏れないように配管し、各部からの漏れのないことをよく確認してからご使用ください。

エアピンチバルブ

番号 EG-0016

承認	査閲	作成
9.28		3.2

型 式

A P V - 

ゴムスリーブの材質 [天然ゴム：T
クロロプレンゴム：N]

バルブの呼び径

1. 取付上の注意事項

1-1 配管上の注意

- ピンチバルブの前後にストツバルブを挿入してください。
- バイパス回路を設けてください。
- 取付姿勢はシリンダが垂直（電磁弁が上）になるように取付けてください。水平方向に取付けますとうまく作動いたしません。
- バルブ本体に歪を起こさせないように取付けてください。
- 流れ方向はゴムスリーブの矢印方向としてください。
- 操作用シリンダエア入口前には当社製フィルタ・減圧弁を取付けてください。シリンダの動作をスムーズにし、かつ寿命を伸ばします。（無給油使用可能です。）
- シリンダのエア配管は必ずフレキシブル配管で行なってください。

1-2 配線上の注意

- 電線は心線断面積 0.75 mm^2 以上のものを使用してください。
- 電気回路保護用としてヒューズを入れてください。（2A）
- 電気回路のスイッチはできるだけスナツプアクションのものを使用してください。
- 電圧降下の少ない回路方式を取ってください。

1-3 その他

- 周囲温度は 45°C 、流体温度は 60°C 以上の場所での使用は避けてください。
- 取付けスペースが狭いと保守点検のとき作業が困難になりますので広く取ってください。

2. 保守上の注意事項

2-1 ゴムスリーブ取り替えについて

- a. 流体の供給を止める。
- b. ピンチバルブを配管より取り外す。
- c. 下部六角ナット ③② をゆるめ、下部押さえ ③③ を取り外すと、ゴムスリーブ ②⑤ フランジ ③④ ステーパールト ②⑨ ガイド押さえ ②⑧ 割りリング ③① 六角ナット ②⑥ ②⑦ が一体となって取り出せます。
- d. 次に六角ナット ②⑥ ②⑦ をゆるめるとフランジ ③④ が自由になり割りリング ③① が取り出せます。
- e. 最後にゴムスリーブ ②⑤ よりフランジ ③④ を抜き出します。
- f. 組立の際は分解の逆手順にて行ってください。
- g. ゴムスリーブはV溝が（図1）の状態になるように組立願います。

尚、②⑥ ②⑦ の六角ナットの締め付けはピンチバルブ全体の作動がスムーズであるように調整をしながら締め付けを行ってください。

また、分解組立の際ステーパールト ②⑨ が変形しないように気を付けてください。ステーパールトが変形しますと組立後スムーズに作動しない場合があります。

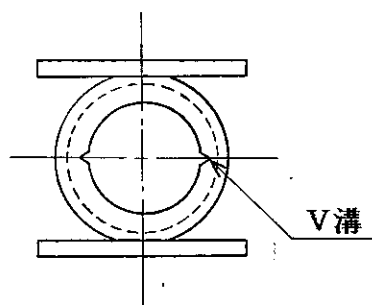


図1

2-2 ピンチバルブ全体の保守について

- a. 上部操作バルブ・シリンダ部は故障時以外は分解しないでください。
- b. ゴムスリーブ取り替え時にシリンダ部単体にて絶対に作動させないでください。
- c. シリンダ部を動作させる場合には、バルブ本体（流体の流れを制御するゴムスリーブ周辺部分）が取り付けられている時に願います。

2-3 故障と対策

(1) バルブが閉じない場合

原 因	対 策
A パイロット圧力が来ていない	パイロット圧力の点検 パイロット圧力操作電磁弁の点検
B パイロット圧力が低い事はないか	パイロット圧力の点検
C シリンダ部の故障	シリンダ部の点検

(2) リークがある場合

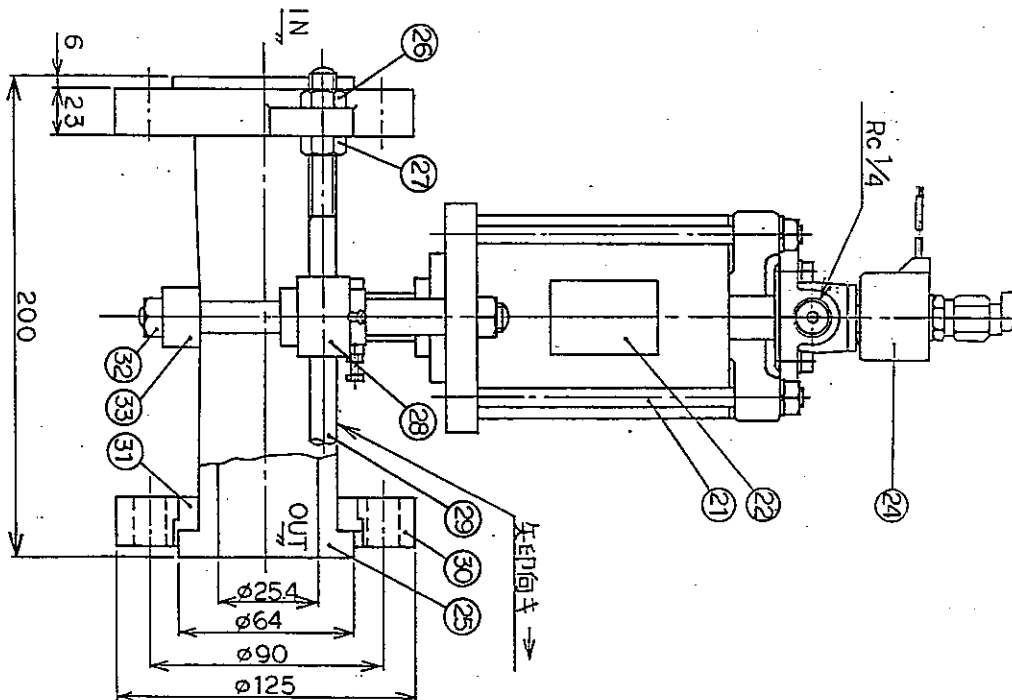
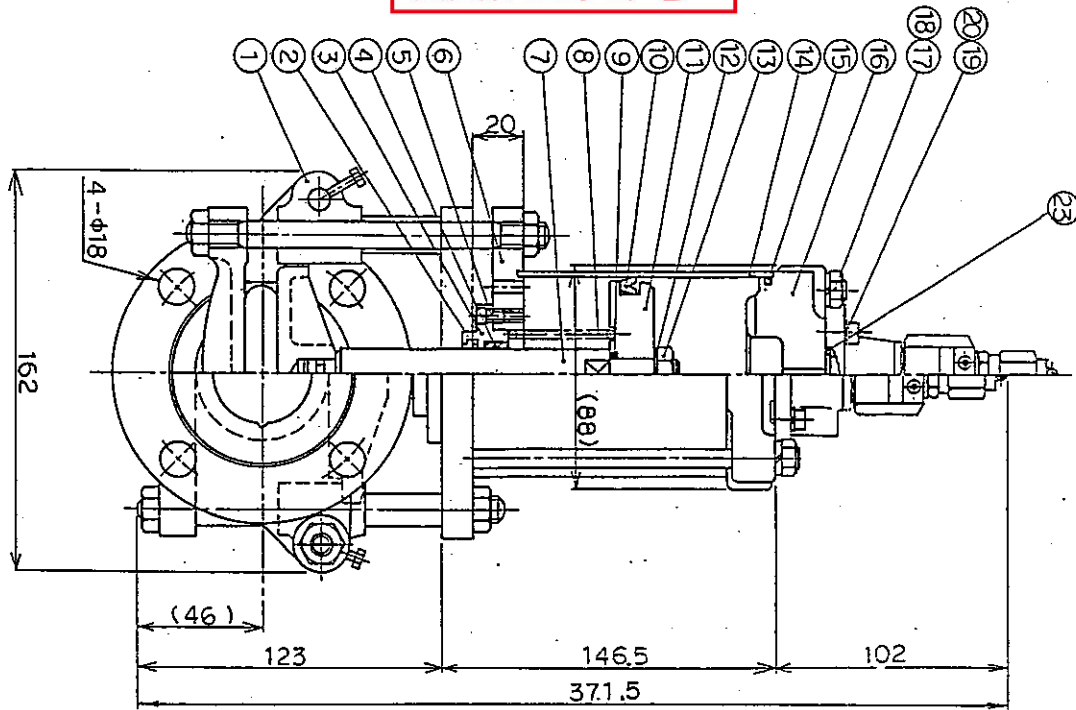
原 因	対 策
A パイロット圧力が低い事はないか	パイロット圧力の点検
B 流体圧力がパイロット圧力よりも 高くはないか	流体圧力の点検 (パイロット圧力を高くする)
C シート部のゴムに傷が付いている 場合	ゴムスリーブの取替

(3) 外部にリークがある場合

原 因	対 策
A ゴムスリーブの破損	ゴムスリーブの取替

(4) バルブが開かない場合

原 因	対 策
A 電磁弁がうまく作動していない	電磁弁の点検
B シリンダ部の故障	シリンダ部の点検



品番	部 品 名	材 質	数 量
33	下地押さえ	FC20	4
32	下地六角ナット	SS41	4
31	割リリソグ	SS41	2
30	フランジ	FC20	2
29	スレーボルト	SS41	2
28	ガイド押さえ	FC20	2
27	六角ナット	SS41	4
26	六角ナット	SS41	4
25	ゴムスリーブ	NR/CR	1
24	切機弁	NR	1
23	オリソグ	NR	1
22	スタンプ打銘版	チトコフアルム	1
21	タイロッド	S20C	4
20	ハネ連金	SWRH4	4
19	六角穴付ボルト	SCM435	4
18	ハネ連金	SWRH4	4
17	六角ナット	SS41	4
16	ヘッドカバー	FC25	1
15	オリソグ	NR	1
14	シリソグ	C2700T-H	1
13	六角ナット	SS41	1
12	ハネ連金	SWRH	1
11	バネソグ	S35C	1
10	GLYバッキン	SH-761	1
9	オリソグ	NR	1
8	スプリング	SWP	1
7	バネソグ	S45C	1
6	シリソグ	S35C	1
5	六角穴付ボルト	SCM435	4
4	オイルヌメタル	FC25	1
3	ロックヌメタル	NR	1
2	スプリング	NR	1
1	バルブ本体	NR/CR	1